

まず初めにお読みいただいた「医工計測技術とは」より申請者の研究は、

1. 図1の計測システムの一般的構成に照らして、以下のいずれに該当しますか？

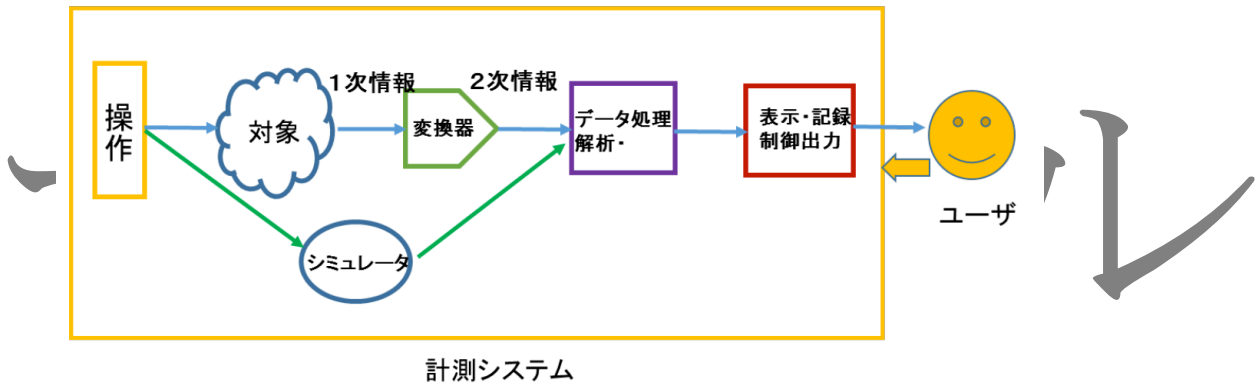
- (1) 計測システムの構成に関する (a. 新たな提案 b. 改良 c. 追試)
- (2) 各要素
 - ① 操作手法 (a. 新たな提案 b. 改良 c. 追試)
 - ② 変換器 (a. 新たな提案 b. 改良 c. 追試)
 - ③ データ処理・解析手法 (a. 新たな提案 b. 改良 c. 追試)
 - ④ 表示・記録・制御手法 (a. 新たな提案 b. 改良 c. 追試)
 - ⑤ シミュレータ (a. 新たな提案 b. 改良 c. 追試)
- (3) 新たな対象への適用
- (4) その他

上記のいずれに該当するかを選択し、番号・記号を下記に記入ください。*複数選択可

() 例. 「(1)a」 「(2)①b」 「(3)」等

「その他」の場合は具体的に説明してください。

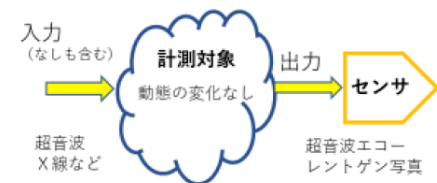
()



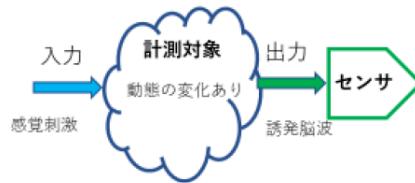
2. 上記操作手法に関し、操作の内容は図2の4種類のどれに該当するかを、当てはまる類型があれば、番号を下記に記入してください。なければ、回答いただかなくて結構です。

()

類型1 無処理・無動態変化



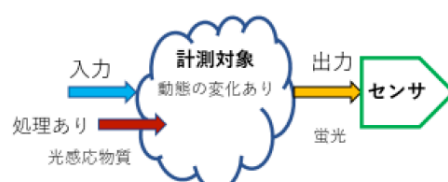
類型2 無処理・有動態変化



類型3 有処理・無動態変化



類型4 有処理・有動態変化



1. 留学で取り組む研究課題について

医工計測技術および関連技術分野の観点から、次の事項をご説明ください。

(1) 申請者が取り組んでいるあるいは取り組もうとする医工計測技術の課題の概要

(2) 新規性・独創性

サンプラ

(3) 発展性

(4) 波及効果

2. 留学の必要性および留学先の機関に関して、医工計測技術および関連技術分野の観点から、次の事項をご説明ください。

(1) なぜ海外での研究が必要なのか

(2) 留学先を選定した理由

サンプリ

(3) 留学先の医工計測技術及び関連技術分野での実績の説明および関連論文（3件程度）

3. 留学先で実施する研究計画

(1) 医工計測技術および関連技術分野としての研究計画（具体的に）

(2) 期待できるメリット

例えば、研究計画の何々に対する的確な指導を受けられる、研究計画にとって必要な実験機器が利用できる、メンバーとの議論、人的交流などによって研究の進展が期待できるなどを具体的に記してください。（網掛け部分は入力時に削除してください）

4. 申請者に関する事項

(1) 学歴（大学以降）：

(2) 職歴：

(3) 科学技術分野に関するこれまでの実績大要：

サンプロ

(4) 主要研究論文リスト（最大5件）：

5. 助成申請金額の内訳

(1) 渡航費（出発地、到着地をご記入の上、日本円でご記入下さい。）
※算出基準：応募時点での主要航空会社のエコノミークラス往復割引運賃(上限 30 万円)

出発地：_____ 到着地：_____ 円

(2) 滞在費（滞在月数をご記入下さい。）
※長期留学は 12 ヶ月～36 ヶ月までといたします。

1 ヶ月 250,000 円 × _____ ヶ月 _____ 円

助成申請金額（(1) + (2)） _____ 円

6. 助成金に関する特記事項

(1) 留学先機関よりビザ取得申請に必要な外部調達資金が提示されている。
※留学先機関が提示している金額が確認できる書類を提出すること

_____ 1年間 _____ 円

(2) 留学先機関から給与の支払支給がある。

支給期間： _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月

_____ 1ヶ月 _____ 円

以上